

平成 25 年度 事業報告及び財務状況

I 設置校の概要(平成 25 年 5 月 1 日現在)

- 1 学生、生徒及び園児数
- 2 専任教職員数

II 役員会の開催状況

III 主な事業の目的・計画及び実績

IV 決算及び財務状況

- 1 資金収支決算
- 2 消費収支決算
- 3 貸借対照表
- 4 財産目録
- 5 部門別消費収支決算内訳 (参考)
- 6 部門別決算額推移表 (参考)

I 設置校の概要

1. 学生・生徒・園児数(平成25年5月1日在籍)

部門	学部・学科名等	収容定員 (A) 人	1年 人	2年 人	3年 人	4年 人	在籍合計 (B) 人	定員充足率 B/A	備考
大学	子ども育成学部	330 (330)	86 (82)	77 (76)	77 (76)	78 (66)	318 (300)	0.96 (0.91)	
	現代社会学部	490 (490)	100 (106)	102 (98)	96 (131)	136 (111)	434 (418)	0.89 (0.91)	
	小計	820 (820)	186 (188)	179 (174)	173 (207)	214 (177)	752 (748)	0.92 (0.91)	
	短大	食物栄養学科	160 (160)	90 (90)	88 (87)			178 (177)	1.11 (1.11)
	幼児教育学科	160 (160)	87 (93)	91 (94)			178 (187)	1.11 (1.17)	
	経営情報学科	200 (200)	131 (113)	112 (120)			243 (233)	1.22 (1.17)	
	福祉学科	140 (140)	48 (60)	55 (41)			103 (101)	0.74 (0.72)	
	専攻科食物栄養専攻	30 (30)	16 (18)	17 (14)			33 (32)	1.10 (1.07)	
	小計	690 (690)	372 (374)	363 (356)			735 (730)	1.07 (1.06)	
高校	全日制課程普通科	725 (735)	294 (370)	353 (238)	220 (218)		867 (826)	1.20 (1.12)	入学定員 (23)240 (24)245 (25)240
幼稚園		84 (84)	(3歳児) 30 (36)	(4歳児) 41 (40)	(5歳児) 37 (30)		108 (106)	1.29 (1.26)	
総計		2,319 (2,329)					2,462 (2,408)	1.06 (1.03)	

※1. 在籍合計欄の ~~.....~~ は定員割れを示す

※2. ()内は24年度の収容定員及び在籍人員(5月1日現在)

[参考] : 平成26年度在籍数

部門	学部・学科名等	収容定員 (A) 人	1年 人	2年 人	3年 人	4年 人	在籍合計 (B) 人	定員充足率 B/A	備考
大学	子ども育成学部	330	101	85	80	78	344	1.04	
	現代社会学部	490	111	95	100	100	405	0.83	
	小計	820	212	180	180	178	759	0.91	
短大	食物栄養学科	160	80	89			169	1.06	
	幼児教育学科	160	83	88			171	1.07	
	経営情報学科	200	102	127			229	1.15	
	福祉学科	140	46	46			92	0.66	
	専攻科食物栄養専攻	30	18	16			34	1.13	
	小計	690	329	366			695	1.01	
高校	全日制課程普通科	730	262	277	337		876	1.20	入学定員 (24)245 (25)240 (26)245
幼稚園		84	(3歳児) 31	(4歳児) 31	(5歳児) 43		105	1.25	
総計		2,324					2,426	1.04	

2. 専任教職員数(平成25年5月1日在籍)

	本部 人	大学 人	短大 人	高校 人	幼稚園 人	合計 人	備考
教員数	— (—)	△ 1 45 (46)	0 40 (40)	4 49 (45)	0 7 (7)	3 141 (138)	特任教員を含む
職員数	3 (3)	△ 1 25 (26)	△ 1 24 (25)	0 5 (5)	0 — (—)	△ 2 57 (59)	実習助手を含む
合計	3 (3)	△ 2 70 (72)	△ 1 64 (65)	4 54 (50)	0 7 (7)	1 198 (197)	

※1. ()内は平成24年5月1日在籍の人数である

Ⅱ 役員会の開催状況

- 平成25年5月30日 理事会・評議員会
- 平成26年3月26日 理事会・評議員会

区分	開催日現在の状況		開催年月日	議 事 内 容
	定 員	現 員(a)		
理 事 会	20~26	20	平成25年5月30日	第214回理事会 議案第1号 平成24年度事業報告及び決算報告の件 → 議決 議案第2号 学識経験者のうちから評議員選任の件 → 議決 議案第3号 富山国際大学学則の一部改正の件 → 議決 議案第4号 富山国際大学附属高等学校学則の一部改正の件 → 議決 議案第5号 富山国際大学学長選考の件 → 議決
		20	平成26年3月26日	第215回理事会 議案第1号 平成25年度資金収支補正予算案及び消費収支補正予算案に関する件 → 議決 議案第2号 平成26年度事業計画案並びに資金収支予算案及び消費収支予算案に関する件 → 議決 議案第3号 富山国際大学学則の一部改正の件 → 議決 議案第4号 富山短期大学学則の一部改正の件 → 議決 議案第5号 法人職員のうちから評議員推薦の件 → 議決 議案第6号 法人の設置する学校卒業生のうちから評議員選任の件 → 議決 議案第7号 学識経験者のうちから評議員選任の件 → 議決 議案第8号 学識経験者のうちから理事選任の件 → 議決

区分	開催日現在の状況		開催年月日	議 事 内 容
	定 員	現 員(a)		
評 議 員 会	41~53	43	平成25年5月30日	第194回評議員会 諮問第1号 平成24年度事業報告及び決算報告の件 → 了承 諮問第2号 富山国際大学学則の一部改正の件 → 了承 諮問第3号 富山国際大学附属高等学校学則の一部改正の件 → 了承 議案第1号 評議員のうちから理事選任の件 → 議決
		42	平成26年3月26日	第195回評議員会 諮問第1号 平成25年度資金収支補正予算案及び消費収支補正予算案に関する件 → 了承 諮問第2号 平成26年度事業計画案並びに資金収支予算案及び消費収支予算案に関する件 → 了承 諮問第3号 富山国際大学学則の一部改正の件 → 了承 諮問第4号 富山短期大学学則の一部改正の件 → 了承 議案第1号 法人職員のうちから評議員選任の件 → 議決 議案第2号 評議員のうちから理事選任の件 → 議決

Ⅲ 主な事業の目的・計画および実績

学園

富山国際学園創立 50 周年 記念式典・祝賀会・記念講演会

富山国際学園は、平成 25 年度に創立 50 周年を迎えました。今まで学園を支えてきて下さった県民の皆様、自治体関係者、役員教職員、そして多くの卒業生・在学生に感謝いたします。

本学園では、この記念すべき年に、記念式典・祝賀会・記念講演会を開催しました（平成 25 年 10 月 17 日）。

記念式典は、石井隆一富山県知事をはじめ、県内外の教育・行政・企業・各種団体・地元自治会等から 300 名の来賓招待者、そして本学園の教職員・学生生徒等 700 名を加え、約 1,000 名が参加し、竣工されたばかりの呉羽キャンパス G 館で盛大に開催されました。

記念講演会には、諏訪中央病院名誉院長 鎌田實先生を講師に迎え、「生きているって素晴らしいー自分の人生は自分ででき開くー」と題して、「自由、勇気、想像力」というキーワードを中心に、本学園の教育目標である「知性、教養、個性」を重ね合わせてお話いただき、参加した学生生徒へエールを送って下さいました。

教職員一同は、これまでの 50 年を振り返りながら、「次の 50 年」へ向けての決意を新たにしました。

富山国際大学

（1）平成 25 年度学生募集活動及び平成 26 年度入学者数

過年度に引き続き定員確保が経営改善の最重点課題であるが、短期的な学生募集活動に加え、中長期的な視野からの学生募集活動も展開しました。

基本的には、平成 24 年度の募集活動方針と比較して、大きな変更はありませんが、平成 25 年度から進学相談会や大学祭開催時のオープンキャンパスなどを開催し、従来のものを強化した形としました。

平成 25 年度の新たな試みとしては、大学入試センターの試験会場を東黒牧キャンパスから呉羽キャンパスに移しました。平成 25 年度に試験会場を本学に割り当てられた高校からの志願者はいみせんでしたが、平成 26 年度以降も呉羽キャンパスで試験会場を予定していることから、割り当てられた志願者が出願したくなるよう清潔感ある校舎の維持などに努めます。

学生募集活動の結果として、子ども育成学部においては 2 年連続で入学定員を確保し、学部としての収容定員も学部設置以来初めて充足することが出来ました。しかしながら、大学全体としての平成 26 年度定員充足率〔在籍学生数／収容定員〕は平成 25 年度とほぼ同じの 91%に留まり、今後は現代社会学部と子ども育成学部の両学部で定員充足出来るように努力していきます。

(2) 重点目標・活動計画を中心とした取組み

① 授業の改革

平成 24 年度に続き、平成 25 年度も私立大学教育研究活性化設備整備事業補助金に採択され、アクティブラーニングに全学的に取り組みました。今後は補助金によって整備されたクリッカーなどを効果的に活用できるよう、FD 研修などで教員の研鑽を積んでいきます。

② 施設・設備整備

(i) 屋上防水工事

本学も開設から 20 年が経ち、東黒牧キャンパスでは、経年劣化により校舎のひび割れ等が目立つようになってきており、屋上も漏水などの可能性があります。平成 25 年度は 1 号館と厚生棟の屋上防水工事を行いました。今後も順次計画的に工事を行っていく予定です。

(ii) シャトルバスの運行

平成 25 年度より東黒牧キャンパスと地鉄月岡駅間でシャトルバスの運行を開始しました。登下校時の 4 便の運行で、年間を通し延べ 3,987 名の利用がありました。今後も、学生の交通の便の確保と利便性の向上に努めていきます。

③ 教育研究活動

外部獲得資金状況 【総計】 36 件 52,013 千円 (別表 1 参照)

(3) 各学部の状況

現代社会学部

- ・平成 25 年度は以下のことに重点を置きながら学部の改革を進めてきました。
 - ①入学定員確保に向けた対策の強化…オープンキャンパスの回数増
 - ②教育の質向上に向けた対策の強化…FD 研修や外部の講習会等に積極的に参加
 - ③休退学者減少対策の強化…入学者に関する情報伝達の徹底、個別指導の徹底・強化や保護者との緊密な連携により休退学者の減少を図る
 - ④キャリア教育の改革と就職対策の強化…キャリア支援センターと教員との密な連携で、100%の就職率となりました
 - ⑤地域連携・交流活動の強化…地域交流センターとの連携も図りながら、講演会やセミナーなど本学の情報発信に努めました
 - ⑥国際交流活動の強化…国際交流センターとの連携を図りながら海外ボランティアや海外インターンシップなどに力を入れました。また平成 24 年度に引き続き、チューター制度を実施し、学内においても外国人留学生との交流が活発に行われました。

子ども育成学部

- ・小学校教員採用試験 5 名合格、社会福祉士国家試験 1 2 名合格

子ども育成学部は 2 期生を送り出し、1 期生に負けず劣らずの成果を出しました。富山県の教員採用試験 2 次試験では 5 名（前年度 6 名）が合格しました。また、社会福祉士国家試験では 1 2 名（前年度 8 名）が合格し合格率では全国の私大で 9 位、北陸 3 県の私大では 1 位の好結果をあげることができました。

「教育と福祉のハイブリッド」を掲げる学部として、今後もこれ以上の結果を求めるとともに、卒業生が地域や子ども育成の現場で地域の高い評価を得られ続けられるようフォローしていきます。

（４）地域との連携

富山駅前 CiC ビル 3 階富山国際学園サテライト・オフィス「地域交流センター」では地域の諸機関との連携、一般市民と本学との参加型イベント、公開講座、学生のボランティアサークル活動など年間を通し、学園と地域との交流拠点として従来より運営されています。平成 24 年度からはエクステンション・カレッジも発足し、より地域への知的財産の還元として、公開講座の充実や、広く市民に開かれた知的交流の場となるようにアカデミック・カフェを開設しています。

利用者数は平成 24 年度と比較すると、エクステンション・カレッジ受講者数は、171 人から 151 人、プレビュー講座（無料講座）で 144 人から 140 人、サテライト・オフィスの使用状況でも 4,238 人から 3,361 人（いずれも延べ数）と減少傾向にあります。今後も地域に根ざした大学として、社会のニーズに対応した講座の開設など、利用者の増加に努めていきます。

（５）就職状況

現代社会学部・子ども育成学部とともに就職率は 100%となりました。

現代社会学部では、1 年次からキャリア支援を行っており、就職先も上場企業、銀行を含む金融機関などにも多数就職することが出来ました。次年度からは公務員試験対策講座 PAP コースの開設などで公務員試験合格者の増加にも力を入れ、就職率の維持だけでなく、就職先の充実により力を加えていきます。

子ども育成学部では、1 期生に続き多くの専門職に就くことが出来ました。また、国立の大学院への進学者も出すことができています。今後も地域の期待に応えるべく指導していきます。

富山短期大学

(1) 平成25年度学生募集活動及び平成26年度入学者数

学生募集は、高校訪問や進学相談会・高校内説明会等、高校教員や高校生に直接接することのできる広報に重点を置いて活動しました。推薦入試においては、大幅な志願者減となったため、急遽、高校訪問の回数を増やすなど、危機感をもって一般入試での巻き返しを図りました。しかしながら、結果としては、昨年度を上回る志願者を確保することができず、平成26年度入試の出願者総数は、短大全体で前年度対比9%の減少となりました。

これまで短大においては、全体の定員充足率が100%を切ることはなく、学園の屋台骨として、財務状況の好転に貢献してきましたが、平成26年度入学の定員充足率は94.8%となり入学定員を下回る結果となりました。学科別では、食物栄養学科100%、幼児教育学科103.8%、経営情報学科102%、専攻科120%と辛うじて定員を確保したものの、福祉学科においては62.9%となり、福祉学科の割り込みを他の学科でまかなうことが出来ませんでした。

来年度の学生募集に際しては、広告掲出媒体や広報戦略の見直し等を検討し、志願者確保に努めていきます。

(2) 重点目標・活動計画を中心とした取組み

① 授業の改革

学生への学習支援のため、平成25年度では、前年度に構築した「Webシラバスシステム」を経営情報学科において先行的に実施するとともに、平成26年度には全学的に運用を開始するため、一部機能の拡充を予定しています。このシステムにおいては、例えば授業の理解度や満足度がその都度得られ、次回の授業に役立てることが出来ます。

また、学生の自学自習ならびにグループワークを促進するため、A館3階にプロジェクターや情報機器等を備えた「ラーニング・コモンズ」整備しました。

② 施設・設備整備

校舎改築

・平成23年度より着手していた短大校舎改築I期工事が終了し、新しくG館学生ホール及びF館講義棟が完成した。G館は、1階に食堂、売店、保健室、2階に体育館としても利用できるステージ付きの多目的ホールを配置しています。G館完成に伴い、食堂・売店委託業者を一新し、学生・教職員の好評を得ています。

また、F館は、主に食物栄養学科の学生が利用する調理実習室、多目的教室や合併教室、コンピュータ演習室、食品・栄養科学実験室、理化学実験室などを配置し、先進的な設備を備えています。今後は、A館の一部と図書館棟の耐震化を検討しなければなりません。学園の財務状況を見ながら、慎重に検討を進めていく予定です。総工費 1,987,834,000円

備品整備

- ・既存の給食実習室の設備充実を図り、ドライ仕様に対応する備品等の整備を行いました。

温冷配膳車 1, 764, 000円

スチームコンベクション 1, 713, 075円

現有校舎の環境整備

- ・既存校舎の環境整備のため、外壁タイルの補修や空調設備の更新等を行い、新校舎以外でも、学生が快適に学習に望めるよう整備しました。

外壁タイル補修 4, 347, 000円

A313教室空調更新 1, 522, 500円

③ 教育研究活動

外部獲得資金状況 【総計】13件 27,865千円（別表1参照）

（3）各学科の状況

食物栄養学科

- ・栄養士実力認定試験等

全国栄養士養成施設協会が実施している栄養士実力認定試験では、全国の短大平均得点が35.6点であったのに比べて、本学は41.1点と、全国平均を約15%も上回る結果を得ました。

また、NR・サプリメントアドバイザー認定試験では、本学から受検した学生が、成績優秀者として、日本臨床栄養協会から表彰を受けるなど、各種認定試験等で、本学科学生の教育レベルの高さが顕著であることが証明されました。

- ・研究活動

各教員は、各々独自のテーマに沿った研究活動を行っています。昨年度は、ホタルイカの健康機能に関する研究によって、ホタルイカの内臓に有効成分があること、脂肪肝予防作用についてヒトでも効果のある可能性を示し、全国の新聞、テレビ等メディアで大きく取り上げられるなど、地域の産業にも大きな貢献をすることが出来ました。

- ・50周年記念シンポジウム

学園創立50周年を記念し、「これからの食のあり方」と題したシンポジウムを新F館にて開催しました。基調講演では、神奈川県立保健福祉大学学長で日本栄養士会名誉会長でもある中村丁次先生が「我が国における栄養と食の現状と課題」という演題で、なぜ栄養学が必要なのかということについてお話いただきました。

また、パネルディスカッションでは、これからの食のあり方について、今井光雄氏（富山県厚生部）、山瀬洋明氏（JA 富山中央会）、塩原紘栄氏（富山県消費者協会）、原田澄子氏（食物栄養学科長）が、活発に討論を行われました。

幼児教育学科

・保育者養成

平成 25 年度卒業生 87 名の内、幼稚園教諭二種免許状取得 86 名、保育士資格取得 87 名であり、就職決定率は 100%（就職希望者 84 名）となりました。

就職先は幼稚園 8 名、保育所 74 名、福祉施設 2 名など、専門職就職率 100%であり、公務員採用試験（保育士）には 10 名が合格し、就職しました。

・第 41 回幼児教育研究会

県内外の幼稚園・保育所等の関係者と保育者養成校の教員、学生が一堂に会し、研究と実践を交流・推進する場としての幼児教育研究会を学園創立 50 周年記念事業として開催しました。

日時：平成 25 年 6 月 22 日(土)

研究主題：保育内容を見つめ直すー幼保小の連携と保育内容」、参加者：450 名

経営情報学科

・就職動向

平成 25 年度卒業生の就職決定率は、98%でした。また、就職先未内定の学生を対象に、富山県中小企業団体中央会との産学連携事業（企業説明会等）を 11 月 30 日に初めて開催しました。

・インターンシップ

平成 25 年度のインターンシップ参加学生は、112 名で 1 年生全体の 86%であり、また、中国大連 YKK 社でのインターンシップにも、初めて 1 名が参加しました。

・資格取得

検定試験の上級資格（日商 PC・簿記検定 2 級、TOEIC）の取得を奨励するため、「資格取得に対する単位認定制度」を、平成 26 年度から導入する予定にしています。

・授業改革

グループワーク等のアクティブ・ラーニングを積極的に導入・活用するため、平成 26 年度より、キャリア関連講座の内容を一新する予定にしています。

福祉学科

・中学・高校への出前講座の実施

福祉や介護分野への興味や関心を高めてもらう機会になるようにと、中学校 4 校、高校 10 校で実施しました。中学校では「総合的な学習」の一環としての体験学習や、「14 歳の挑戦」に向けた事前学習として取り入れていただき、好評を得ています。

・学科への高い満足度を実証

平成 25 年度の卒業生アンケートにおいて、「担任の指導・支援」や「先生との出会い」で 100%に迫る満足度の高さを得ることが出来ました。今後の学生募集に反映できるよう PR に活用すると同時に、さらなる満足度の提供を目指して努力を重ねていきます。

- ・学科の伝統に位置づいた「学生支援G P活動」

平成 19 年度に採択された学生支援G Pを契機に、1・2年合同でグループを作り、学科の学びを活かしたボランティア活動を、年間を通して地域で展開しています。

- ・子ども育成学部への編入学の定着

今年度、2人が子ども育成学部へ3年次編入を果たしました。4年間で確実に、そして無理なく2つの国家資格（介護福祉士＋社会福祉士）を取得という進路を、今後の学生募集において積極的にPRしていきます。

- ・平成 26 年度入学生を対象にカリキュラムや教育全般の見直し

新たに介護福祉士養成教育に追加となった「医療的ケア」をカリキュラムに組み込むとともに、実習の内容と時間数を見直しました。

専攻科食物栄養専攻

- ・学士、就職、国家試験の3つにおいて100%を達成

本年度の専攻科生は、管理栄養士国家試験模擬試験の成績が2年生になっても平均点が例年より低く、就職活動も遅く、特別研究の進行も遅い者があるなど、教員の苦労が多かった点は否めません。しかし、教員の熱心な指導や学生の奮闘の結果、学士（栄養学）を全員が取得、栄養士または管理栄養士（見込み）で全員が就職、管理栄養士国家試験を全員が合格と、本科の教育成果目標である学士、就職、管理栄養士国家試験の3つにおいて100%を達成することが出来ました。このパーフェクトな成果は、久しぶりであり、今後も学生の満足度の高い科であるように教職員一同努力していきます。

（4）就職状況

短大は在学期間が2年間と短いため、1年次から進路ガイダンスを実施するなど、学生が将来に向けたキャリアプランニングを考えられるように支援しています。また、外部講師による就職関連講座や公務員対策講座の実施など、就職支援センターが中心となって、学生の満足度の高い就職支援に尽力しています。その結果、平成 26 年 3 月末時点で、4学科の就職率は99.4%、専攻科においては100%の就職率となっています。専門職への就職率は、食物栄養学科90.1%、幼児教育学科100%、福祉学科97.8%となっています。経営情報学科を中心とした一般職への就職も、金融機関や地元の優良企業への就職者が多数見受けられ、本学卒業生の質の高さを社会が認めているものと思われます。また、卒業時に未就職であった学生に対しても、卒業後も引き続き支援を続けることとしています。

富山国際大学附属高等学校

(1) 平成25年度生徒募集活動及び平成26年度入学者数

前年度に引き続きテレビコマーシャルを取り入れ、新校舎のアピールに努めました。また、各中学で開催される説明会で、本校の特徴である国際交流活動やスクールバスについて直接生徒や保護者に説明し理解を得たことで、入学定員 245 名に対し入学者 263 名、入学定員充足率〔入学者/入学定員〕107.3%となりました。

定員 20%オーバーが 2 年続き、平成 26 年度入学生も同様なら県の補助金が大幅にカットされることもあり、これを機に一気に入試のボーダーラインを上げ調整を行うなど、今まで以上に入学者を厳選することが出来ました。

(2) 重点目標・活動計画を中心とした取組み

① 施設・設備整備

(i) 教職員用コンピュータ導入

7,959,892 円（国補助：3,980,000 円）

当初複数年（3～5 年）での実施としていましたが、国の IT 等補助金（1/2 補助）対象となったため、単年実施が可能（事務職員分は補助対象外のため未実施）となり、教員用コンピュータ整備が完遂し、併せて導入経費も大幅に削減することが出来ました。

(ii) 生徒用 iPad 導入に伴う無線 LAN 教室整備

2,083,830 円（国補助：1,041,000 円）：機器備品費

3,210,270 円（国補助：1,070,000 円）：工事費

当初複数年（3～5 年）での実施としていましたが、国の IT 等補助金（1/2 及び 1/3 補助）対象となったため、単年実施が可能となり、本館及び東館の無線ラン整備はほぼ完遂し、導入経費も大幅に削減することが出来ました。

(iii) 生徒数増に係る普通教室等の確保

2 クラス増分の教室用備品を整備しました。

(iv) 理科教育設備

3,208,000 円（国補助：1,604,000 円）

理科科目の授業用機器備品を整備しました。

(v) 駐輪場増設

3,185,800 円（県補助：1,000,000 円）

自転車通学者用の駐輪場不足分（48 台）を増設しました。

- (vi) 光彩館 3F ホールの利用増に伴う改修及びプロジェクタ設置
1,620,255 円：修繕費
499,800 円：機器備品費
デスク受けの修繕及びプロジェクタを設置しました。その結果、学年単位で行う授業等や各種行事の実施がスムーズに行えるようになりました。
- (vii) 第一体育館 1F 格技場内壁面に防護マット設置
2,000,000 円
危機管理及び生徒の安全上、設置は必須事項でしたが、実施後けが等のトラブルを減らすこととなりました。
- (viii) テニスコート照明増設工事
高校「テニス部保護者会」「教育振興後援会」からの現物寄付により実施しました。その結果、日没後も全 5 面使用可能となりました。

② 教育研究活動

(i) ICT (Information Communication Technology) 教育の推進

平成 25 年度に国際英語コース 1 年生全員が iPad を購入し、1 年間をかけてタブレット端末を効果的に活用した授業形態を研究してきた結果、ある程度が目途がたち、平成 26 年度は全 1 年生が iPad を購入し、ICT 教育を推進しています。今後は公開授業やオープンキャンパス等で全国に発信し、教育の質向上と入学生の確保に努めていきます。

(ii) 国際交流活動の推進と学校のグローバル化

平成 25 年度に新たにビショップドゥルーイトカレッジ（オーストラリア）と姉妹校提携を結んだ結果、海外姉妹校は 3 校、協力提携校は 3 校となりました。こうした学校との交流活動で、相手校を訪問するばかりでなく相手校からの生徒の受け入れ数も増え、同時にホストファミリーの体験家庭も著しく増加し、学校ばかりでなく生徒の家庭のグローバル化も徐々に進んでいます。

本校は数年前から日本語のできない外国籍生徒に対し、英語のペーパーテストと面接による特別入試を実施しています。また、こうした生徒に対する特別カリキュラムも整っていることもあり、外国籍生徒や日本国籍でも日本語が不自由な入学生も少なくありません。しかし、こうした生徒の存在は、学校全体のグローバル化に大きく貢献しています。

また、平成 25 年度はスカイプを使い東京外国語専門学校による TOEFL の授業を 6 日間にわたり受講しました。ビデオと違い LIVE 授業で質問もできる環境は生徒にとっても好評であり、今後も進めていく予定にしています。**(主な国際交流の状況は別表 2 参照)**

(iii) 課外活動

部活動ではバドミントン部がアジアユースU19選手権大会で銀メダル、車椅子バスケットボールはアジアユースパラ競技大会で2位の成績を収め、国際大会で活躍をしています。テニス、弓道、柔道、新聞、放送部も全国大会などの上位大会に進出する活躍をしています。その他の部でも、積極的に活動して力をつけています。**(主な課外活動の結果は別表3参照)**

③進路状況

地元の富山大学や県立大学をはじめとする国公立大学に11名の合格、上智大学をはじめとする私立大学に96名の合格者を出しました。就職希望者36名中36名が就職しました。

また、併設校への進学実績は、富山国際大学に25名の合格で13名の進学、富山短期大学へは35名の合格で33名の進学となりました。

富山短期大学附属みどり野幼稚園

(1) 平成25年度園児募集活動及び平成26年度入園者数

県内の幼稚園児数の減少が進む中で、本園の保育内容や園庭の自然環境への評価が高く、保護者の口コミを通して富山市の中心部や婦中町より園児が集まってくるようになり、前年度より若干園児数は減少したが、定員充足率は1.25（前年度1.29）とほぼ前年度並みの園児数を確保しました。

(2) 重点目標・活動計画及び取組み

短大幼児期養育学科の幼児教育研究会において、公開保育を実施し定員を超える参加希望があり、保育環境や園児の姿に対して高い評価を受けました。

園庭や呉羽山の里山を活用し、自然の中での体験活動を多く行い、身体を十分に使い、子ども自ら主体的に学ぶことを大切にしてきました。

親子クラブ等で、幼児教育学科や子ども育成学部の協力を得ながら未就園児の子育て支援を充実させるとともに、保護者の就労や緊急な用事の場合の預かり保育の充実などを行ってきました。

子ども子育て支援法の成立により、給付等の制度の変更が今後の幼稚園のあり方に大きな影響を与えると考えられます。そのため、幼稚園の老朽化や耐震化による改築という大きな課題も含め、子ども育成学部、幼児教育学科とも連携しつつ「みどり野幼稚園将来構想検討委員会」を立ち上げ現在も検討を進めています。

富山国際大学

国庫補助金(競争的補助金)	2件	27,669千円
産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業		12,000千円
平成25年度私立大学教育研究活性化設備整備費補助金		15,669千円
科学研究費助成事業等	16件	12,830千円
琉球の近世計画村落形成に伝統的祭祀施設と村抱護が果たした役割と意味に関する研究		
介護者のケアマネジメントにおけるアセスメントツールの開発		
北陸・飛騨地域の伝統的文化・自然資源の観光的価値に関する研究		
景観の図像化プロセスの解明とナビゲーションツールとしての案内地図への応用		
教員養成学部における「ものづくり」を重視した理科教育プログラムの開発		
日本とドイツにおけるポジティブ・アクション政策の比較憲法的考察		
スクールソーシャルワーカーの学校現場への定着に向けた総合支援カルテの開発		
「教育」概念によって統合された法制度の形成過程についての歴史的研究		
感情イメージ理論に基づくDV防止教育への応用的研究		
有明工業高等専門学校【分担金】		
神戸芸術工科大学【分担金】		
奈良女子大学【分担金】		
愛知県立大学【分担金】		
東京大学【分担金】		
聖学院大学【分担金】		
京都大学【分担金】		
富山県ひとづくり財団	8件	3,681千円
富山国際学園創立50周年記念子ども育成学部第5回公開セミナー		
富山国際学園創立50周年記念国際交流シンポジウム		
「北陸新幹線開業に向けた新川地区のツーリズム」セミナー		
富山国際大学第5回子ども育成フォーラム		
富山県におけるNPOインターンシップの試行実施と可能性調査		
富山国際学園創立50周年記念富山国際大学エクステンション・カレッジ公開講座		
富山国際大学オープンキャンパス		
就職促進事業		
富山第一銀行奨学財団	7件	1,800千円
富山県における新しい観光の在り方に関する研究		
自立支援型村落開発援助の有効性に関する研究		
要約筆記支援システムの研究		
教員のための理科授業用天体写真の撮影マニュアル作成に関する研究		
富山県の小学校国語科教育の系譜～小学校国語科教育の在り方を求めて～		
行政と家庭教育についての歴史的研究		
地域社会における生涯学習の意義と方向性に関する研究		
その他	3件	6,033千円
小水力利用パッケージパターンの構築および地域関係者の合意形成プロセス研究		
宇奈月温泉地域平成25年度地熱開発理解促進関連事業支援補助金		
富良野市小水力発電設計業務		

富山短期大学

国庫補助金(競争的補助金)	1件	19,488千円
平成25年度私立大学教育研究活性化設備整備費補助金		19,488千円
科学研究費助成事業等	1件	1,300千円
新しい動脈硬化指標CAVIを用いた生活習慣病予防のための脂質摂取に関する研究		
富山県ひとづくり財団	5件	877千円
富山短期大学2013公開講座		
経営情報学科公開講座		
専攻科食物栄養専攻 公開特別講演会		
食物栄養学科 創立50周年記念シンポジウム		
第41回幼児教育研究会		
富山第一銀行奨学財団	4件	500千円
次世代に伝え継ぐ富山の聞き書き家庭料理の調査		
「家庭における食習慣と親子関係の関連性の検討」		
「webシラバスシステムを活用した双方向コミュニケーションによる簿記教育上の効果に関する研究」		
「高齢化率の高い射水市沿岸部固有の福祉ニーズの把握」		
その他	2件	5,700千円
ホタルイカに含まれる生活習慣病予防成分の解明と応用(H24年度から継続)		
発芽玄米摂取によるアレルギー性疾患に対する治療効果の検討(H22年度から継続)		

◇本校生の海外長期留学派遣状況

	～2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	合計
アメリカ	7	11	1	2	9	3	10	7	7	4	5	4	6	5		81
カナダ	6	2	1	4	1	3		2		5	5	3	2	5		39
イギリス	2	1	1	1	1			1	1							8
オーストラリア	8	2	3	2		2						1	2	1		21
ニュージーランド	6													1		7
ドイツ					2									1		3
アイルランド				1									1	1		3
ヴェネズエラ	1															1
韓国						1										1
ハンガリー						1										1
オランダ							1									1
タイランド														1		1
台湾	1															1
スウェーデン										1		1				2
スペイン														1		1
合 計	31	16	6	10	13	10	11	10	8	10	10	9	11	16	0	171
1年間	30	13	6	10	13	10	11	10	8	9	10	7	11	14		162
半年間～1年間	1											1		1		3
半年以下		3								1		1		1		6

◇外国人留学生受入状況

	～2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	合計
アメリカ	1	7	1	3	4	3	7	18	14	23	13	2	24	13		133
カナダ	2				1			1	1							5
オーストラリア	5	1	1	2	2	2	3	2	1	1	2	1	5	1		29
ニュージーランド	67	1	1	1	1	1	11		11	1	14			14		123
オランダ					1	1	1									3
韓国							1				1					2
ドイツ									1				1			2
ネパール		5														5
フィンランド											1					1
フィリピン								1								1
コスタリカ														1		1
合 計	75	14	3	6	9	7	23	22	28	25	31	3	30	29	0	305
1年間	13	2	3	3	3	2	3	2	2	2	2		3	4		44
半年間～1年間	3				1	1					1					6
2ヶ月～半年間				3	5	4	7	1	1							21
2ヶ月間未満	59	12					13	19	25	23	28	3	27	25		234

◇海外の大学進学状況

	～2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	合計
	20	5	2	3	2	1	3		1		1		1	1		40

◇語学研修状況

	～2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	合計
アメリカ	298	19	28	34	23	30	19	24	33	28	25	19	25	30		635

◇海外研修状況

	～2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	合計
ニュージーランド	101		1	17	9	10	9	6	16	11			8			188
シンガポール	20		12	18	25	44	71	46	53	35	48	61	24	112		569
韓国	25	19	63	74												181
サイパン							38	22	56	47						163
グアム			22		52	54										128
オーストラリア			32								45	51	69	56		253
タイ				23												23
中国					29											29
台湾											50	13	25			88
フィリピン														34		34
合 計	146	19	130	132	115	108	118	74	125	93	143	125	126	202	0	1,656

平成 25 年度部活動の主な成績（全国大会 他）

・テニス部

全国高校総合体育大会	男子団体・個人シングルス	3 連続	12 回出場
	女子個人シングルス、ダブルス		出場
全国高校選抜テニス大会	女子団体	8 年連続	21 回出場
	男子団体	2 年ぶり	11 回出場
全国私立高校テニス選手権大会	男女個人シングルス		出場
全日本ジュニアテニス選手権大会	女子個人		出場
国民体育大会	少年男女団体		出場

・バドミントン部

アジアユース U19 バドミントン選手権大会			銀メダル
全国高校総合体育大会			女子団体ベスト 8
			女子個人ダブルス 3 位
国民体育大会			少年女子 3 位
世界ジュニアバドミントン選手権大会	女子個人ダブルス		ベスト 8
中部日本バドミントン選手権大会	女子個人ダブルス		優勝
	女子個人シングルス		2 位
全国高校選抜バドミントン大会	女子団体		ベスト 8
	女子個人シングルス		ベスト 16

・弓道部

全国高校総合体育大会	女子団体・男子個人		出場
------------	-----------	--	----

・柔道部

全国高校柔道選手権大会	男子個人		出場
-------------	------	--	----

・新聞部

全国高校総合文化祭			18 年連続出場
全国高校新聞年間紙面審査	最優秀賞	3 年連続	4 回目

・放送部

全国高校総合文化祭			25 年連続出場
全国高校総合文化祭 ビデオメッセージ部門			優秀賞
NHK 杯全国放送コンテスト			34 年連続出場
テレビドキュメント部門			制作奨励賞
研究発表部門			研究奨励賞

・車椅子バスケットボール

2013 Fazza International Wheelchair basketball Championship			6 位
2013 U23 ワールドチャンピオンシップ			
・アジア・オセアニアゾーン予選会			3 位
D-NUGGETS CUP			3 位
	個人賞		5 位
アジアユースパラ競技大会マレーシア 2013			2 位

IV 決算及び財務状況

1. 資金収支計算書

資金収支計算書

平成25年 4月 1日から
平成26年 3月31日まで

(単位 千円)

収入の部				
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	
学生生徒等納付金収入	1,859,848	1,897,993	△ 38,145	
手数料収入	32,774	34,972	△ 2,198	
寄付金収入	2,105	45,864	△ 43,759	
補助金収入	613,460	637,963	△ 24,503	
国庫補助金収入	350,490	354,489	△ 3,999	
地方公共団体補助金収入	241,459	264,556	△ 23,097	
その他補助金収入	21,511	18,918	2,593	
資産運用収入	17,690	34,971	△ 17,281	
資産売却収入	1	0	1	
事業収入	78,812	93,631	△ 14,819	
雑収入	83,697	91,541	△ 7,844	
借入金等収入	0	0	0	
前受金収入	469,315	443,873	25,442	
その他の収入	1,001,715	874,694	127,021	
資金収入調整勘定	△ 533,518	△ 581,019	47,501	
前年度繰越支払資金	832,270	832,269		
収入の部合計	4,458,169	4,406,752	51,417	
支出の部				
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	
人件費支出	1,656,933	1,629,400	27,533	
教育研究経費支出	551,643	518,510	33,133	
管理経費支出	162,439	145,483	16,956	
借入金等利息支出	0	0	0	
借入金等返済支出	240	240	0	
施設関係支出	768,016	762,542	5,474	
設備関係支出	195,632	182,855	12,777	
資産運用支出	280,523	332,843	△ 52,320	
その他の支出	158,743	167,704	△ 8,961	
	(0)			
[予備費]	15,500		15,500	
資金支出調整勘定	△ 118,500	△ 118,754	254	
次年度繰越支払資金	787,000	785,929	1,071	
支出の部合計	4,458,169	4,406,752	51,417	

2. 消費収支計算書

消費収支計算書

平成25年 4月 1日から
平成26年 3月31日まで

(単位 千円)

消費収入の部				
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	
学生生徒等納付金	1,859,848	1,897,993	△ 38,145	
手数料	32,774	34,972	△ 2,198	
寄付金	3,807	52,848	△ 49,041	
補助金	613,460	637,963	△ 24,503	
国庫補助金	350,490	354,489	△ 3,999	
地方公共団体補助金	241,459	264,556	△ 23,097	
その他補助金	21,511	18,918	2,593	
資産運用収入	17,690	34,971	△ 17,281	
資産売却差額	1	0	1	
事業収入	78,812	93,631	△ 14,819	
雑収入	83,697	94,163	△ 10,466	
帰属収入合計	2,690,089	2,846,541	△ 156,452	
基本金組入額合計	△ 137,088	△ 156,358	19,270	
消費収入の部合計	2,553,001	2,690,183	△ 137,182	
消費支出の部				
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	
人件費	1,661,433	1,633,639	27,794	
教育研究経費	811,143	774,892	36,251	
管理経費	164,339	147,565	16,774	
借入金等利息	0	0	0	
資産処分差額	15,500	12,928	2,572	
徴収不能額	0	530	△ 530	
〔予備費〕	(0) 15,500	/	15,500	
消費支出の部合計	2,667,915	2,569,554	98,361	
当年度消費収入支出超過額	△ 114,914	120,629	/	
前年度繰越消費支出超過額	△ 3,045,488	△ 3,045,487	/	
翌年度繰越消費支出超過額	△ 3,160,402	△ 2,924,858	/	

3. 貸借対照表

貸借対照表

平成26年3月31日

(単位 千円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	11,365,982	11,075,259	290,723
有形固定資産	8,872,205	8,190,829	681,376
土地	393,929	393,929	0
建物	6,969,724	5,408,225	1,561,499
その他の有形固定資産	1,508,552	2,388,675	△ 880,123
その他の固定資産	2,493,777	2,884,430	△ 390,653
流動資産	941,024	1,003,863	△ 62,839
現金預金	785,929	832,269	△ 46,340
その他の流動固定資産	155,095	171,594	△ 16,499
資産の部合計	12,307,006	12,079,122	227,884

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	608,293	606,620	1,673
長期借入金	0	0	0
その他の固定負債	608,293	606,620	1,673
流動負債	606,857	657,633	△ 50,776
短期借入金	0	240	△ 240
その他の流動負債	606,857	657,393	△ 50,536
負債の部合計	1,215,150	1,264,253	△ 49,103

基本金の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	13,807,205	13,600,860	206,345
第2号基本金	0	50,000	△ 50,000
第3号基本金	13,508	13,496	12
第4号基本金	196,000	196,000	0
基本金の部合計	14,016,713	13,860,356	156,357

消費収支差額の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費支出超過額	△ 2,924,857	△ 3,045,487	120,630
消費収支差額の部合計	△ 2,924,857	△ 3,045,487	120,630

科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	12,307,006	12,079,122	227,884

4. 財産目録

財 産 目 録

I 資産総額		12,307,006	千円
内 基本財産		8,873,525	千円
運用財産		3,433,481	千円
収益事業用財産		0	千円
II 負債総額		1,215,150	千円
III 正味財産		11,091,856	千円

区 分	金 額
資産額	
1 基本財産	
土地	182,714 m ² 393,929 千円
建物	51,743 m ² 6,969,724 千円
図書	232,929 冊 931,939 千円
教具・校具・備品	10,346 点 418,565 千円
その他	159,368 千円
2 運用財産	
現金預金	785,929 千円
その他	2,647,552 千円
3 収益事業用財産	0 千円
資産総額	12,307,006 千円
負債額	
1 固定負債	
長期借入金	0 千円
その他	608,293 千円
2 流動負債	
短期借入金	0 千円
その他	606,857 千円
負債総額	1,215,150 千円
正味財産(資産総額－負債総額)	11,091,856 千円

5. 部門別消費収支決算内訳(参考)

参考

部門別消費収支決算内訳表

平成25年4月 1日から
平成26年3月31日まで

消費収入の部

(単位:千円)

	学園本部	大学	短大	高校	幼稚園	総額
学生生徒等納付金	0	776,210	702,324	390,354	29,105	1,897,993
授業料	0	412,864	350,890	295,040	22,032	1,080,826
入学金	0	62,327	80,750	49,799	1,110	193,986
実験実習料	0	38,694	46,204	0	0	84,898
施設設備資金	0	187,375	154,330	40,740	1,944	384,389
その他の納付金	0	74,950	70,150	4,775	4,019	153,894
手数料	0	13,423	12,961	8,549	39	34,972
寄付金	13,550	7,126	24,463	6,883	826	52,848
補助金	0	216,102	143,183	258,941	19,737	637,963
資産運用	31,696	1,786	986	503	0	34,971
資産売却差額	0	0	0	0	0	0
事業収入	297	22,814	33,877	30,390	6,253	93,631
雑収入	828	31,929	48,893	11,729	784	94,163
帰属収入合計	46,371	1,069,390	966,687	707,349	56,744	2,846,541
基本金組入額	△ 12	△ 17,068	△ 110,754	△ 28,171	△ 353	△ 156,358
第1号基本金	0	△ 17,068	△ 110,754	△ 28,171	△ 353	△ 156,346
第2号基本金	0	0	0	0	0	0
第3号基本金	△ 12	0	0	0	0	△ 12
第4号基本金	0	0	0	0	0	0
消費収入の部合計	46,359	1,052,322	855,933	679,178	56,391	2,690,183

消費支出の部

	学園本部	大学	短大	高校	幼稚園	総額
人件費	34,077	627,743	535,169	396,736	39,914	1,633,639
教員人件費	0	410,193	347,123	355,730	39,525	1,152,571
職員人件費	21,580	183,553	142,163	32,721	11	380,028
役員報酬	11,230	0	0	0	0	11,230
退職金	1,050	25,370	45,824	8,285	0	80,529
退職給与引当金繰入額	217	8,627	59	0	378	9,281
教育研究経費	0	339,265	230,811	185,195	19,621	774,892
管理経費	35,529	49,935	45,861	15,654	586	147,565
借入金等利息	0	0	0	0	0	0
資産処分差額	0	1,496	2,812	8,620	0	12,928
徴収不能額	0	0	530	0	0	530
消費支出の部合計	69,606	1,018,439	815,183	606,205	60,121	2,569,554
当年度消費収入支出超過額	△ 23,247	33,883	40,750	72,973	△ 3,730	120,629
前年度繰越消費支出超過額	—	—	—	—	—	△ 3,045,487
翌年度繰越消費支出超過額	—	—	—	—	—	△ 2,924,858

<参考>帰属収支差額(帰属収入-消費支出)	△ 23,235	50,951	151,504	101,144	△ 3,377	276,987
-----------------------	----------	--------	---------	---------	---------	---------

6. 部門別決算額推移表(参考)

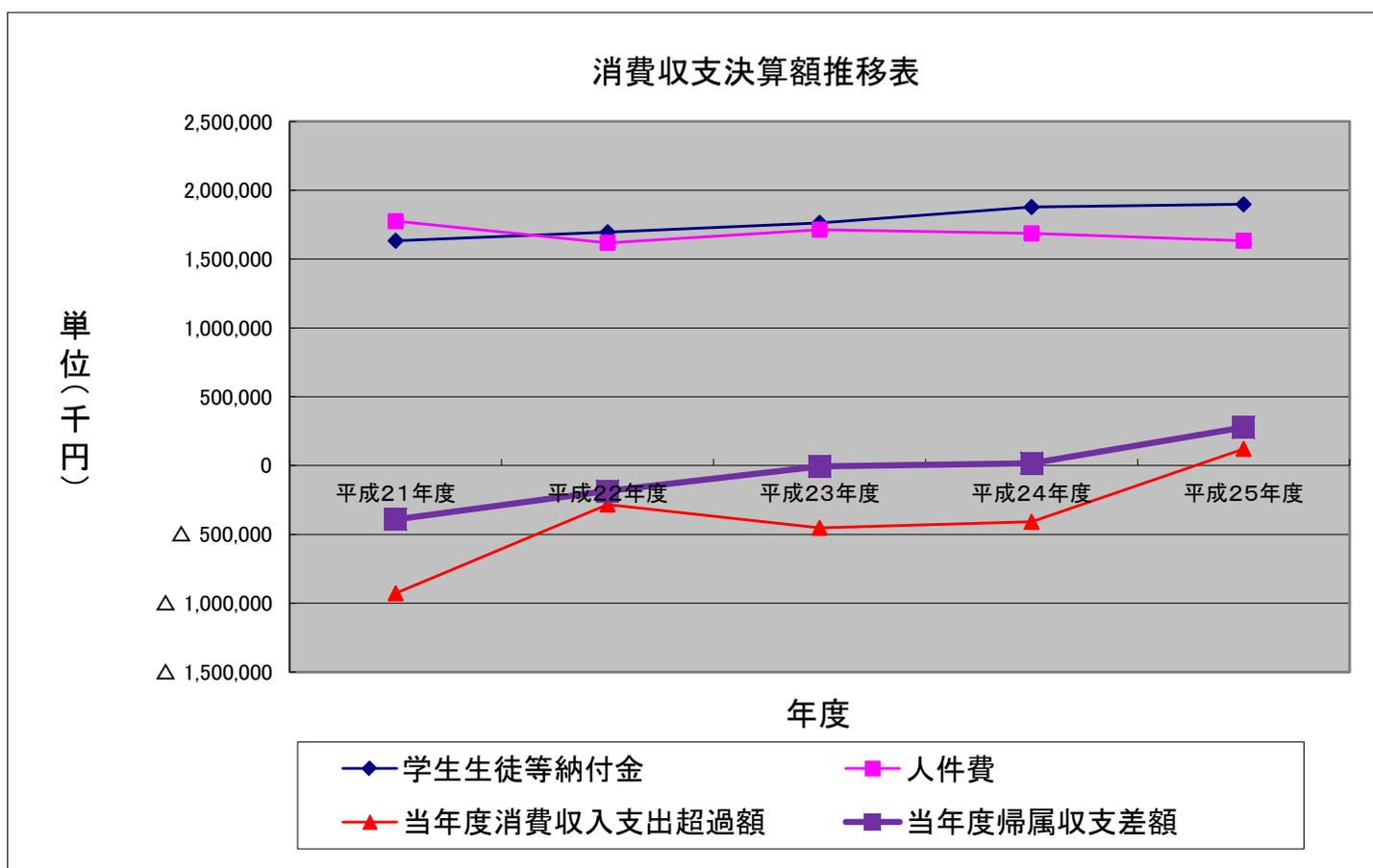
参 考

富山国際学園 決算額推移表

消費収支計算書

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
学生生徒等納付金	1,633,461	1,695,351	1,763,784	1,878,350	1,897,993
手数料	33,907	33,336	34,306	34,779	34,972
寄付金	8,079	7,340	15,450	42,598	52,848
補助金	525,116	589,435	551,976	511,051	637,963
資産運用収入	58,976	46,488	32,120	35,724	34,971
資産売却差額	189	0	0	20,489	0
事業収入	50,600	73,898	78,357	75,252	93,631
雑収入	157,527	51,438	160,269	213,213	94,163
帰属収入合計	2,467,855	2,497,286	2,636,262	2,811,456	2,846,541
基本金組入額	△ 538,115	△ 98,535	△ 447,446	△ 426,221	△ 156,358
消費収入の部合計	1,929,740	2,398,751	2,188,816	2,385,235	2,690,183
人件費	1,775,488	1,618,764	1,713,802	1,686,869	1,633,639
(内、退職金等)	(167,324)	(35,821)	(150,419)	(137,471)	(101,040)
教育研究経費	856,784	809,187	776,383	838,143	774,892
(内、減価償却額)	(284,510)	(274,349)	(277,369)	(268,283)	(255,796)
管理経費	120,838	118,150	131,736	120,841	147,565
(内、減価償却額)	(2,303)	(1,979)	(1,916)	(2,004)	(1,677)
借入金等利息	5,743	4,428	3,113	536	0
資産処分差額	99,642	131,808	16,334	147,902	12,928
徴収不能額	0	0	0	0	530
消費支出の部合計	2,858,495	2,682,337	2,641,368	2,794,291	2,569,554
当年度消費収入支出超過額	△ 928,755	△ 283,586	△ 452,552	△ 409,056	120,629
当年度帰属収支差額	△ 390,640	△ 185,051	△ 5,106	17,165	276,987

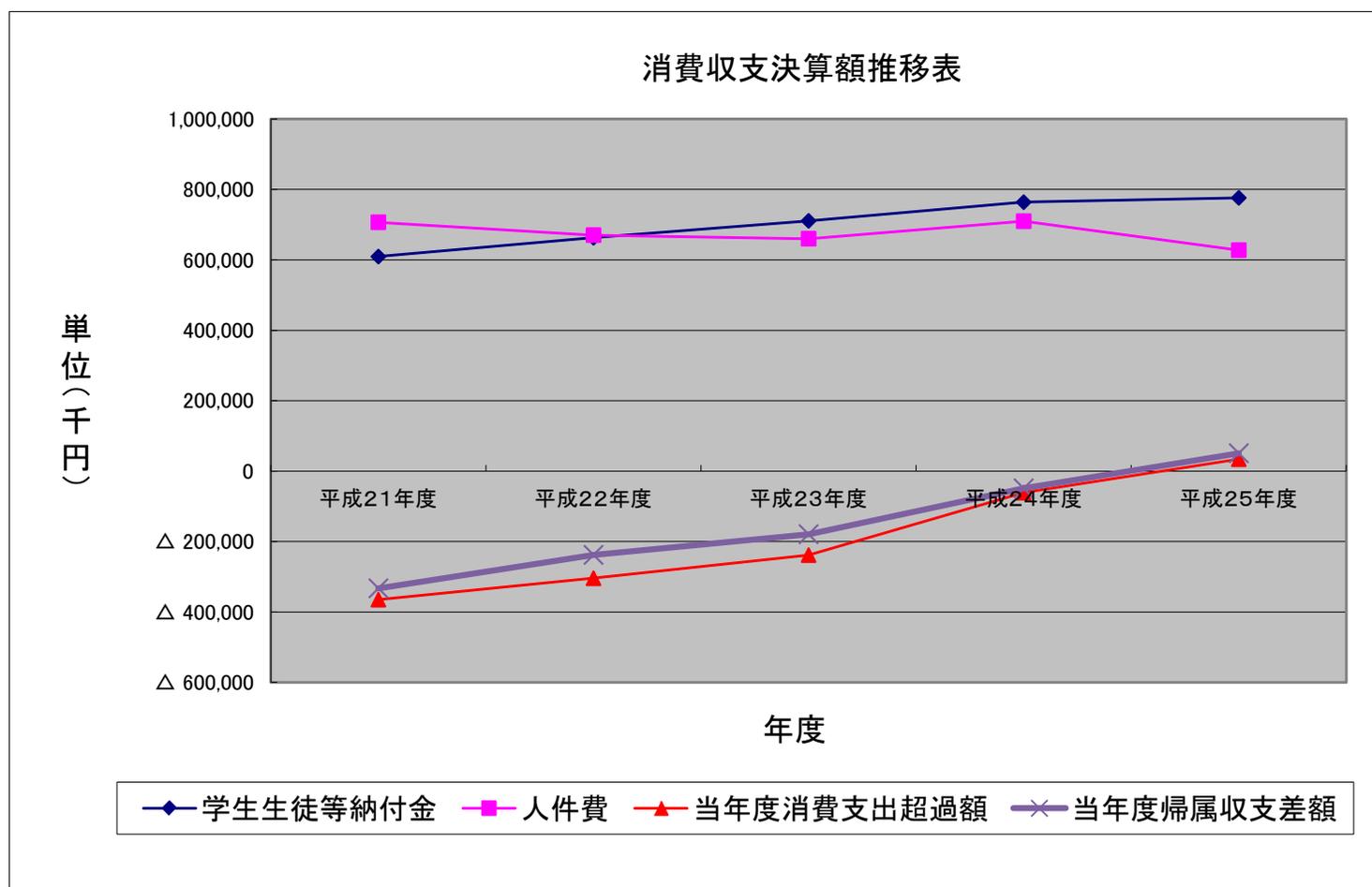


富山国際大学 決算額推移表

消費収支計算書

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
学生生徒等納付金	609,450	662,889	710,828	763,937	776,210
手数料	12,084	11,376	10,374	12,103	13,423
寄付金	2,104	3,277	8,895	5,322	7,126
補助金	152,574	183,212	167,565	124,894	216,102
資産運用収入	1,703	2,059	1,594	1,925	1,786
資産売却差額	0	0	0	0	0
事業収入	13,350	14,752	17,936	13,123	22,814
雑収入	29,965	21,442	22,876	147,896	31,929
帰属収入合計	821,230	899,007	940,068	1,069,200	1,069,390
基本金組入額	△ 32,227	△ 66,387	△ 59,180	△ 12,341	△ 17,068
消費収入の部合計	789,003	832,620	880,888	1,056,859	1,052,322
人件費	706,925	670,409	660,229	709,935	627,743
(内、退職金等)	(18,828)	(9,863)	(12,903)	(79,478)	(34,997)
教育研究経費	379,474	405,061	388,498	355,683	339,265
(内、減価償却額)	(146,343)	(145,291)	(147,123)	(127,689)	(118,333)
管理経費	63,751	57,706	68,361	48,887	49,935
(内、減価償却額)	(931)	(710)	(687)	(789)	(789)
借入金等利息	3,155	2,524	1,893	0	0
資産処分差額	636	1,045	198	3,652	1,496
徴収不能額	0	0	0	0	0
消費支出の部合計	1,153,941	1,136,745	1,119,179	1,118,157	1,018,439
当年度消費支出超過額	△ 364,938	△ 304,125	△ 238,291	△ 61,298	33,883
当年度帰属収支差額	△ 332,711	△ 237,738	△ 179,111	△ 48,957	50,951

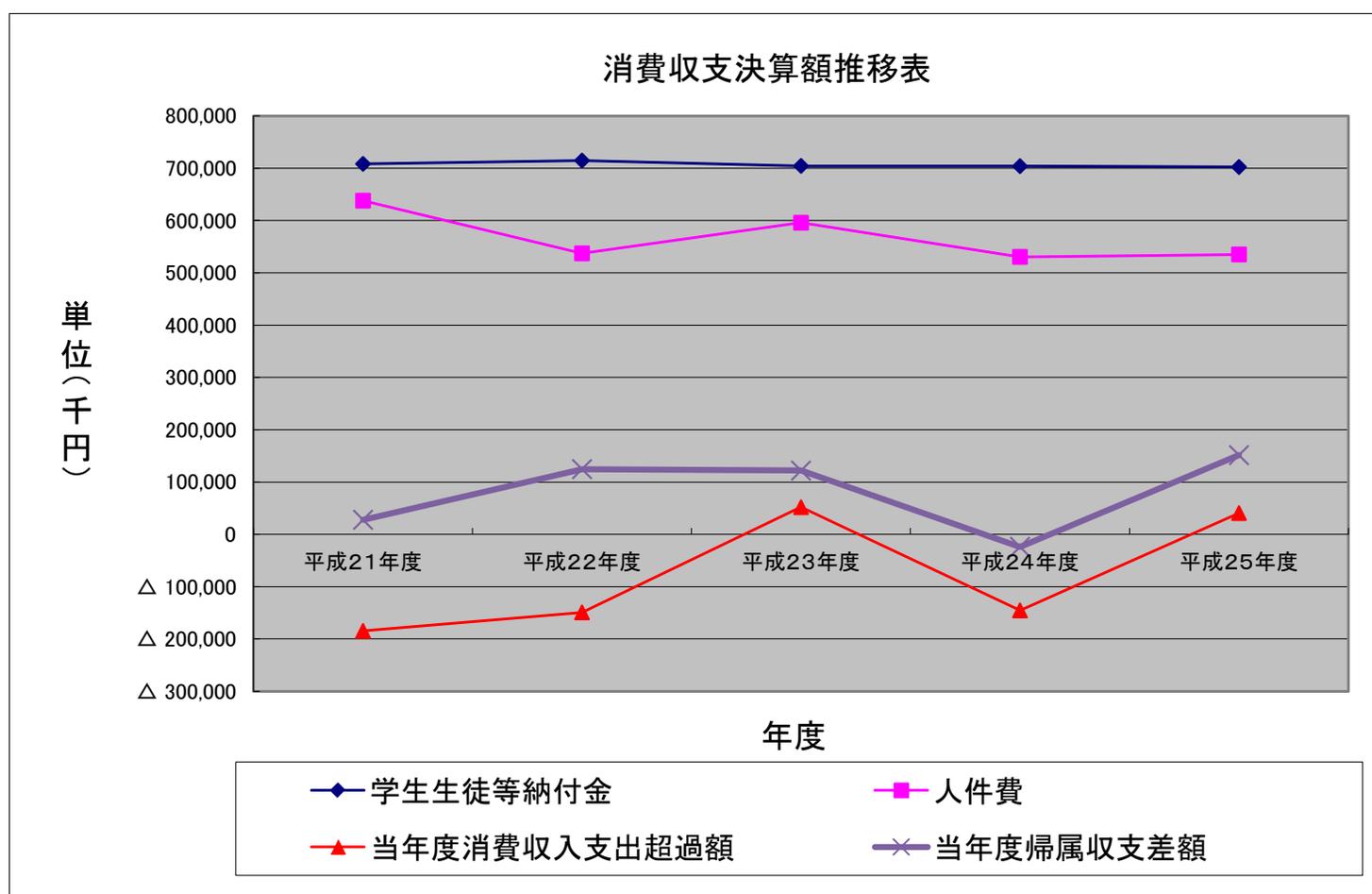


富山短期大学 決算額推移表

消費収支計算書

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
学生生徒等納付金	708,309	714,690	704,461	703,960	702,324
手数料	15,278	15,011	14,815	14,553	12,961
寄付金	3,192	2,202	2,356	3,895	24,463
補助金	138,123	146,576	128,841	122,759	143,183
資産運用収入	3,302	3,397	1,791	1,677	986
資産売却差額	189	0	0	17,620	0
事業収入	17,586	37,925	32,817	27,457	33,877
雑収入	66,787	5,446	87,281	62,710	48,893
帰属収入合計	952,766	925,247	972,362	954,631	966,687
基本金組入額	△ 212,470	△ 273,900	△ 69,989	△ 121,524	△ 110,754
消費収入の部合計	740,296	651,347	902,373	833,107	855,933
人件費	637,955	537,209	595,702	530,467	535,169
(内、退職金等)	(87,100)	(2,065)	(84,719)	(38,337)	(45,883)
教育研究経費	242,625	220,517	216,028	269,785	230,811
(内、減価償却額)	(84,645)	(81,493)	(80,351)	(81,057)	(74,383)
管理経費	38,372	40,499	36,022	42,741	45,861
(内、減価償却額)	(956)	(903)	(839)	(793)	(562)
借入金等利息	938	804	670	536	0
資産処分差額	5,010	1,463	1,985	134,968	2,812
徴収不能額	0	0	0	0	530
消費支出の部合計	924,900	800,492	850,407	978,497	815,183
当年度消費収入支出超過額	△ 184,604	△ 149,145	51,966	△ 145,390	40,750
当年度帰属収支差額	27,866	124,755	121,955	△ 23,866	151,504

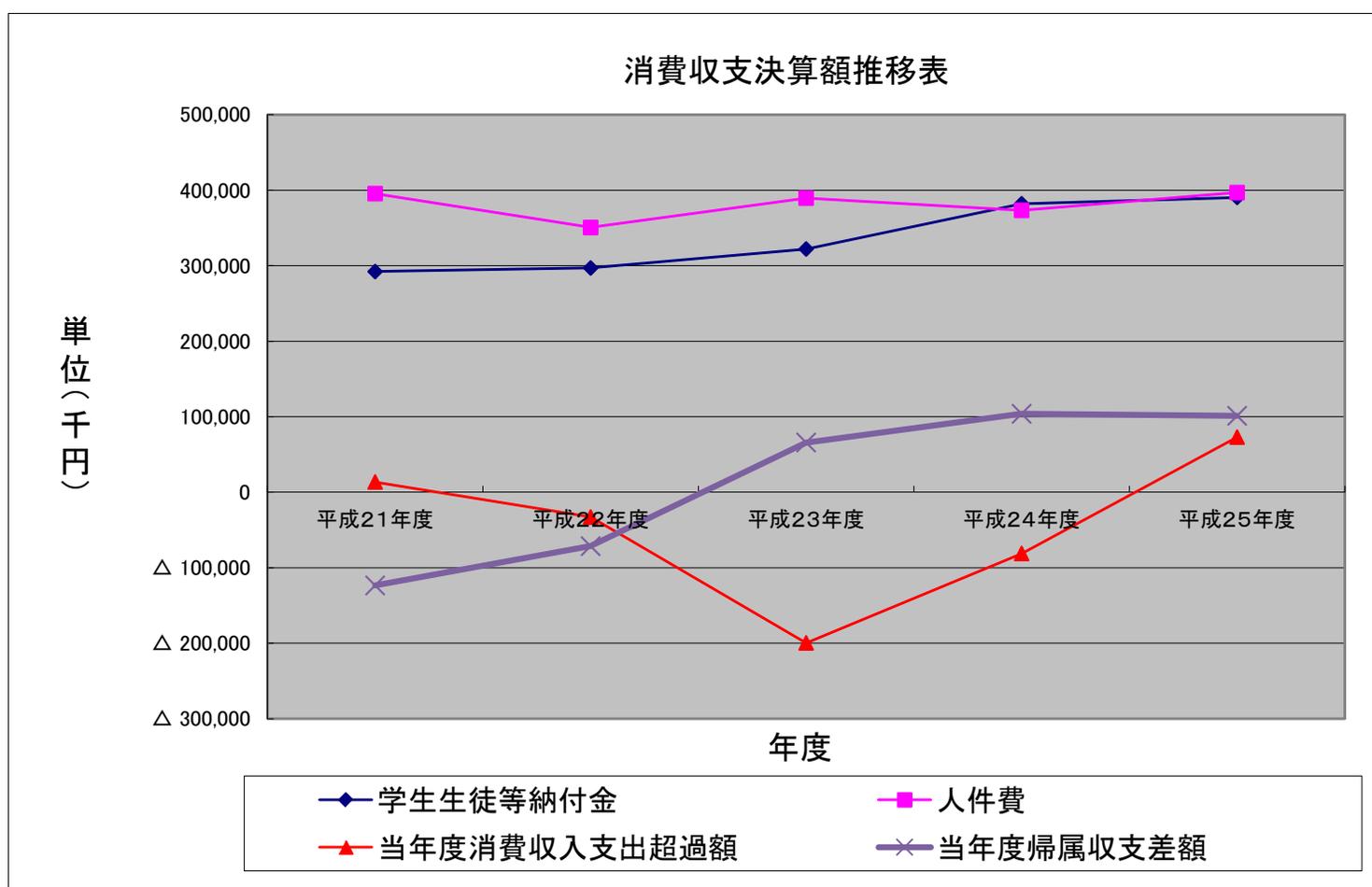


富山国際大学付属高等学校 決算額推移表

消費収支計算書

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
学生生徒等納付金	292,158	296,886	322,071	382,005	390,354
手数料	6,515	6,902	9,069	8,082	8,549
寄付金	2,045	1,289	3,361	21,848	6,883
補助金	216,710	239,750	236,894	243,837	258,941
資産運用収入	163	66	295	543	503
資産売却差額	0	0	0	2,869	0
事業収入	14,710	16,552	21,870	28,499	30,390
雑収入	60,524	24,191	41,495	2,387	11,729
帰属収入合計	592,825	585,636	635,055	690,070	707,349
基本金組入額	136,995	38,645	△ 265,349	△ 185,007	△ 28,171
消費収入の部合計	729,820	624,281	369,706	505,063	679,178
人件費	395,429	350,556	389,435	373,229	396,736
(内、退職金等)	(60,006)	(21,647)	(42,980)	(7,582)	(8,285)
教育研究経費	215,188	164,486	150,723	188,488	185,195
(内、減価償却額)	(48,071)	(41,294)	(43,579)	(54,044)	(57,644)
管理経費	10,015	11,660	14,383	15,236	15,654
(内、減価償却額)	(231)	(211)	(251)	(251)	(260)
借入金等利息	1,650	1,100	550	0	0
資産処分差額	93,995	129,299	14,151	9,282	8,620
徴収不能額	0	0	0	0	0
消費支出の部合計	716,277	657,101	569,242	586,235	606,205
当年度消費収入支出超過額	13,543	△ 32,820	△ 199,536	△ 81,172	72,973
当年度帰属収支差額	△ 123,452	△ 71,465	65,813	103,835	101,144



富山短期大学附属みどり野幼稚園 決算額推移表

消費収支計算書

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
学生生徒等納付金	23,544	20,886	26,424	28,448	29,105
手数料	30	47	48	40	39
寄付金	738	573	588	589	826
補助金	17,709	19,898	18,676	19,561	19,737
資産運用収入	0	0	0	5	0
資産売却差額	0	0	0	0	0
事業収入	4,954	4,669	5,734	6,172	6,253
雑収入	12	0	8,434	50	784
帰属収入合計	46,987	46,073	59,904	54,865	56,744
基本金組入額	△ 5,783	△ 908	△ 920	△ 276	△ 353
消費収入の部合計	41,204	45,165	58,984	54,589	56,391
人件費	35,810	37,222	46,148	39,747	39,914
(内、退職金等)	(215)	(536)	(8,417)	(172)	(378)
教育研究経費	19,496	19,122	21,134	24,187	19,621
(内、減価償却額)	(5,451)	(6,270)	(6,316)	(5,493)	(5,437)
管理経費	723	1,121	655	672	586
(内、減価償却額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
借入金等利息	0	0	0	0	0
資産処分差額	0	0	0	0	0
徴収不能額	0	0	0	0	0
消費支出の部合計	56,029	57,465	67,937	64,606	60,121
当年度消費収入支出超過額	△ 14,825	△ 12,300	△ 8,953	△ 10,017	△ 3,730
当年度帰属収支差額	△ 9,042	△ 11,392	△ 8,033	△ 9,741	△ 3,377

